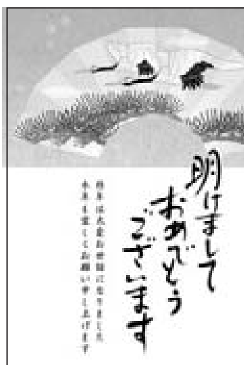
第 5 章

文面の作成と印刷

文面作成の方法について

文面の作りかたには、「カンタン作成」と「組み合わせ作成」「オリジナルはがき作成」の3つがあります。

• カンタン作成： 本機にあらかじめ登録されているデザインを選ぶだけで、簡単に文面を作れます。本機にあらかじめ登録されているデザインの種類については、付属の「デザインカタログ」をご覧ください。



イラスト入りデザイン



写真入りデザイン

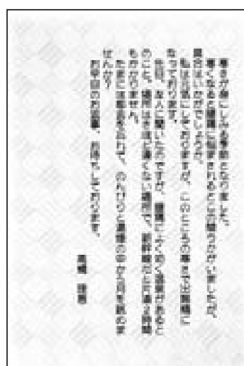


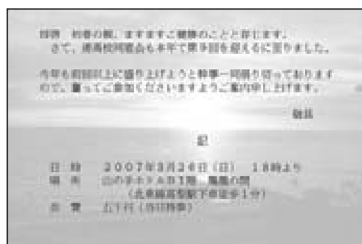
• 組み合わせ作成：見出し、イラスト、テキスト（文章）、写真、差出人などのパーツを選びながら文面を作れます。各パーツの位置や大きさは変更できません。





• オリジナルはがき作成：案内状など文章を自由に作成できます。背景にイラストや写真を入れたり、差出人を入れることができるフォーマットを使って作成していきます。





あらかじめ登録されているデザインから文面を作る（カンタン作成）

本機にあらかじめ登録されているデザインを選んで、簡単に文面を作る方法を説明します。
カンタン作成で選べるはがきのデザインは、時計の日付と時刻に連動して毎年4月1日00時00分になった時点で切り換わります（4月以降は次の年の年賀状作成用のデザインに自動的に切り換わります）。

作業の流れ（カンタン作成）

ジャンルを選ぶ　（▶▶112ページ）

年賀、暑中・残暑見舞い、結婚報告などのジャンル（はがきの分類）を選びます。

デザインを選ぶ

選んだジャンルごとに、用意されているデザインから、好きなデザインを選びます。

- ●イラスト入りのデザインを選ぶ（▶▶112ページ）
- ●写真入りのデザインを選ぶ（▶▶113ページ）
- ●差出人可のデザインを選ぶ（▶▶114ページ）
- ●差出人の設定（▶▶114ページ）

文面を印刷する　（▶▶116ページ）

印刷する枚数、はがきの紙質、印字のタイプなど、印刷の条件を設定し、文面を印刷します。

ジャンルを選ぶ

はじめに、ジャンル(はがきの分類)を選びます。

1 ∧∨<>でメニュー画面から「文面」を選び、実 行を押します。

2 ∧∨<>で文面メニューから「カンタン作成」を選び、実 行を押します。



3 ∧∨<>でジャンルを選び、実 行を押します。

ここでは、「年賀状」を選びます。
カンタン作成のデザイン選択画面が表示されます。



イラスト入りのデザインを選ぶ

1 ∧∨<>でイラスト入りのデザインを選びます。



2 実 行を押します。

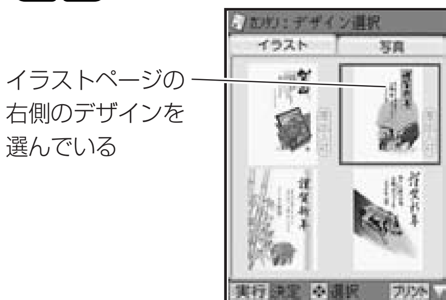
選んだイラスト入りデザインの完成画面が表示されます。

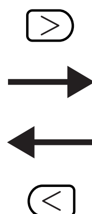


デザイン選択画面の操作について

デザイン選択画面はイラストページと写真ページに分かれています。これらのページを切り換えるには、<>を押します。

イラストページの右側のデザインを選んでいる







写真のページの左側のデザインに移る
※見本の写真が入った部分に写真を入れることができます。

※ デザイン選択画面のとき、シフト かな小 プリント(プレビュー)でデザインのプレビューを確認することができます。
※ プレビュー表示中に はっきりズーム を押すと、プレビューを拡大して表示することがきでます（拡大プレビュー）。拡大プレビュー表示中には∧∨<>で画面のスクロールができます。

写真入りのデザインを選ぶ

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **∧∨＜＞で写真入りのデザインを選んで、実行を押します（全面が見本の写真になっているデザインは、用紙全面に写真を入れることができるデザインです）。**

写真の一覧（サムネイル）が表示されます。



※サムネイルは、デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
※サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、プレビューで写真が表示される場合は、印刷できます。
※写真が1000枚以上ある場合は、すべての写真を取り込むことができません（最大で999枚まで）。
※動画は表示されません。

3 **∧∨＜＞で写真を選び、実行を押します。**

写真が画面全体に表示されます。



- 数字キーを押して番号を指定することにより、指定した番号の写真を直接表示させることもできます。
- あらかじめインデックスプリント（152ページ）をしておくと、写真の番号を指定するときにとても便利です。

4 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**5**へ進みます。

「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

5 **実行を押します。**

選んだ写真入りデザインの完成画面が表示されます。



重要 文面で印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ（大きさを変える）などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

- デザインや写真を選んでいるときに、シフト かな小 プレビュー プリントでデザインや写真のプレビューを確認することができます。
- プレビュー表示中に はっきりズーム を押すと、プレビューを拡大して表示することができます（拡大プレビュー）。拡大プレビュー表示中には∧∨＜＞で画面のスクロールができます。

差出人を入れられるデザインを選ぶ

1 **△▽＜＞で差出人可のデザインを選びます。**

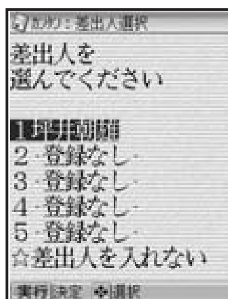
差出人を入れることができるデザインには、差出人可のマークが付いています。

※差出人は、あらかじめ登録しておいてください。

「差出人を登録する」
▶▶ 81ページ



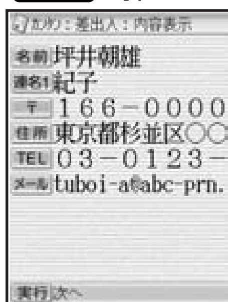
2 **実行を押します。**



3 **△▽で差出人を選び、実行を押します。**

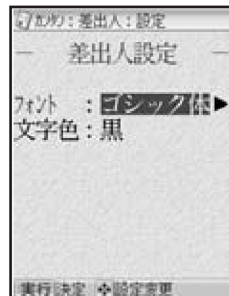
選んだ差出人の内容が表示されます。

「－登録なし－」は選ぶことはできません。



4 **内容を確認したら実行を押します。**

差出人設定画面が表示されます。



5 **△▽で設定する項目を選びます。**

6 **＜＞で設定する内容を選びます。**

7 **設定が終わったら実行を押します。**

選んだ差出人可のデザインの完成画面が表示されます。



重要 毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さく印刷されます。差出人を毛筆流麗体で印刷すると、他の書体で印刷したときに比べて読みにくくなる場合があります。

● 差出人設定画面の設定項目

設定項目	設定内容
フォント	書体（フォント）を設定します（最初はデザインごとに決められた書体が表示されます）。＞を押すたびに、毛筆楷書体→ゴシック体→丸ゴシック体→明朝体→毛筆流麗体の順に切り換わります。＜を押すと、逆の順序に切り換わります。
文字色	文字の色を設定します。＞を押すたびに、黒→赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白→の順で切り換わります。＜を押すと、逆の順序に切り換わります。

※ デザインや差出人を選んでいるときに、シフト かな小 プレビュー プリントでデザインや差出人のプレビューを確認することができます（差出人のプレビューは、デザインに入った状態での確認になります）。

※ プレビュー表示中にはっきりズームを押すと、プレビューを拡大して表示することがきです（拡大プレビュー）。拡大プレビュー表示中には△▽＜＞で画面のスクロールができます。

※ フォントを「毛筆流麗体」に設定した場合でも、「メール」項目の内容は「丸ゴシック体」で印刷されます。

※ 差出人の文字色の「白」は、全面写真の年賀状で設定すると効果的です。文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」(192ページ)をご覧ください。輪郭をつけないようにした場合に、全面写真の年賀状以外のはがきで「白」を設定すると、差出人は印刷されません。

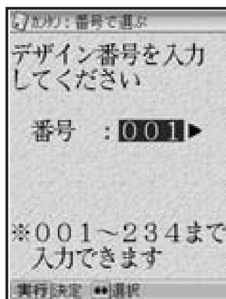
デザインを番号で選ぶ

カンタン作成で使用するデザインは、番号を指定して選ぶこともできます(全面写真のデザインは除く)。デザインの番号については、付属の「デザインカタログ」を参照してください。

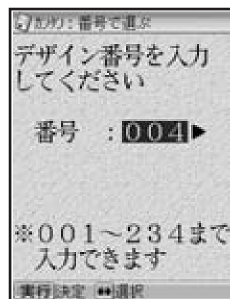
① ∧∨<>でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。

② ∧∨<>で文面メニューから「カンタン作成」を選び、実行を押します。

③ ∧∨<>で「番号で選ぶ」を選び、実行を押します。
番号で選ぶ画面が表示されます。



④ <>でデザイン番号を指定し、実行を押します。



入力した番号のデザインが完成画面に表示されます。



デザイン番号の指定について

デザイン番号の設定のしかたには、数字キーで直接数字を入力して設定することもできます。数字は必ず3桁で入力してください。例えば、「058」を選ぶときは、 0 5 8 と押してください。

最初から作り直したいときは

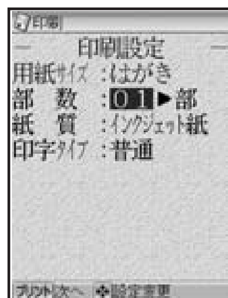
カンタン作成の完成画面から取消しを押していくことにより、文面のジャンルを選ぶ画面に戻ることができます。

文面を印刷する（カンタン作成）

カンタン作成で作った文面を印刷する方法について説明します。

1 カンタン作成の完成画面で、[プレビュー/プリント]を押します。

印刷設定の画面が表示されます。



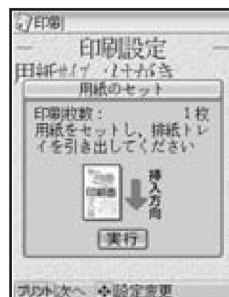
[プレビュー/プリント]を押す前に[シフト/かな小][プレビュー/プリント]を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。[はっきりズーム]を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、[取消し]を押してください。

2 [∧][∨]で設定する項目を選びます。

3 [＜][＞]で設定する内容を選びます。

4 設定が終了したら[プレビュー/プリント]を押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。



5 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

ここでは、はがきの裏面に印刷するようにセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

6 [実 行]を押します。

はがきの印刷が始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重 要 印刷を中止するときは、[取消し]を押します。

7 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

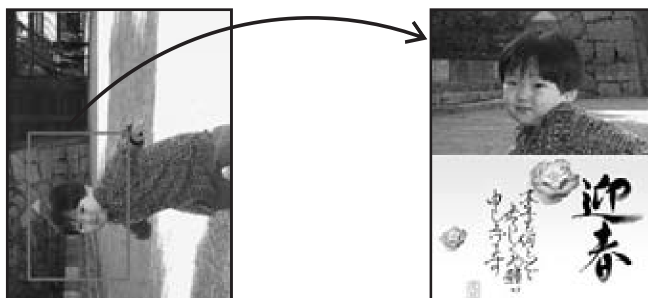
●印刷設定画面の設定項目

設定項目	設定内容
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。 ※ 文面の印刷では、はがきサイズ固定になります。
部数	印刷する枚数を設定します。 設定可能部数：0～99 数字キーで直接枚数を設定することもできます。数字は必ず2桁で入力してください。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するときに選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり（印字品質）を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。

写真の一部を切り抜いて文面に入れる(トリミング)

写真の一部を切り抜いて、好きな部分だけ使うことができます。写真の切り抜きができるのは、次の場合です。

- カンタン作成・組み合わせ作成で、写真入りの文面を作成するとき
- オリジナルはがき作成で、背景として写真を使うとき



● 写真枠の大きさと位置を決める

1 **カンタン作成または組み合わせ作成で、文面に入れる写真を選び、［実 行］を押します。**



オリジナルはがき作成で、背景とする写真を入れる方法については139ページを参照してください。

写真枠を操作する画面(操作ガイド)が表示されます。

※操作ガイドは［空 白］を押すごとに表示/非表示の切り替えができます。

2 **［はっきりズーム］を押して写真枠の大きさを決めます。**

写真枠の色が赤色になります。

［はっきりズーム］を押すたびに、写真枠の大きさが切り替わります(8種類から選べます)。

※写真枠は実際に印刷される範囲を表しています。そのため、写真枠の大きさを「最大」にしても、はがきのデザインや写真の画素数によっては、写真枠の大きさが写真のすべての範囲の大きさにならない場合があります。

3 **［実 行］を押します。**

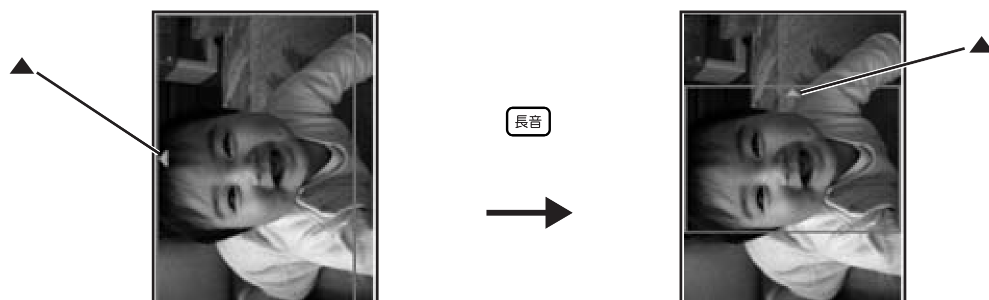
写真枠の色が青色に戻ります。

4 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して、写真枠の位置を決めます。**

［∧］［∨］［＜］［＞］を押すたびに、写真枠が上下左右に移動します。

● 写真枠を回転する

写真枠を回転すると文面に入れる写真の向きを変えることができます。写真枠の▲がついている側が上になります。



1 **カンタン作成または組み合わせ作成で、文面に入れる写真を選び、実 行 を押します。**

オリジナルはがき作成で、背景とする写真を入れる方法については139ページを参照してください。



写真枠を操作する画面（操作ガイド）が表示されます。

※操作ガイドは 空 白 を押すごとに表示／非表示の切り替えができます。

2 **長音 を押します。**

長音 を1回押すたびに、写真枠の中心を軸として、90度ずつ右側に回転します。
回転したときに、写真枠が写真からはみ出すときは、写真枠の大きさや位置が自動的に調整されます。

見出し文を編集する

全面写真の年賀状では、見出し文のフォント・文字色・文字体を指定することができます。
- 見出し文の文章は変更できません。
- 毛筆流麗体では、文字体の指定はできません。

1 **カンタン作成の完成画面で 機能 を押します。**

2 **∧∨で「見出し文の編集」を選び、実 行 を押します。**

3 **∧∨＜＞で必要な項目を設定し、実 行 を押します。**

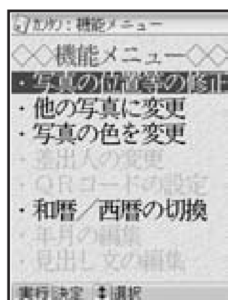
※見出し文の色を「白」にした場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」（192ページ）をご覧ください。輪郭をつけないようにした場合は、白い背景の上に白い文字を配置しても、何も印刷されません。

写真を差し替える

1 **差し替える写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶21ページ

2 **カンタン作成の完成画面（写真入り）で[機能]を押します。**



3 **[∧][∨]で「他の写真に変更」を選び、[実 行]を押します。**

写真の一覧が表示されます。

4 **[∧][∨][＜][＞]で写真を選び、[実 行]を押します。**

写真が画面全体に表示されます。

5 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**6**へ進みます。

「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶117ページ

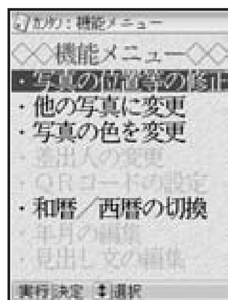
6 **[実 行]を押します。**

完成画面に戻り、差し替えた写真が文面に表示されます。

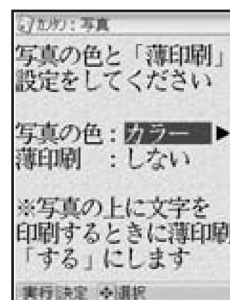
写真の色や濃さを変える

カンタン作成で写真入りの文面を作成するときには、写真の色をカラーのほかに、白黒やセピア色に変えることができます。また、写真を薄く印刷することもできるので、写真の上に文字を入れたい場合などに便利です。

1 **カンタン作成画面の完成画面（写真入り）で、[機能]を押します。**



2 **[∧][∨]で「写真の色を変更」を選び、[実 行]を押します。**



3 **[∧][∨]で「写真の色」または「薄印刷」を選びます。**

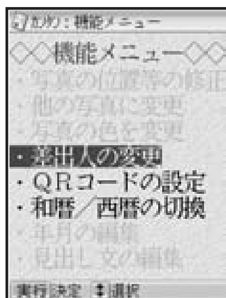
4 **[＜][＞]で、写真の色や「薄印刷」の有無を選び、[実 行]を押します。**

完成画面に戻り、指定した内容で表示されます。

差出人を差し替える

カンタン作成で差出人入りの文面を作成したときは、完成したあとに、差出人を変更できます。

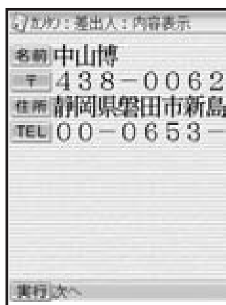
1 **カンタン作成画面の完成画面（差出人入り）で、機能を押します。**



2 **∧∨で「差出人の変更」を選び、実 行を押します。**

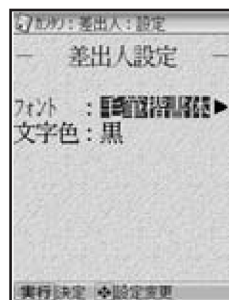
3 **∧∨で差出人を選び、実 行を押します。**

選んだ差出人の内容が表示されます。



4 **内容を確認したら実 行を押します。**

差出人設定画面が表示されます。



5 **∧∨で設定する項目を選びます。**

6 **＜＞で設定する内容を選びます。**

7 **設定が終わったら実 行を押します。**

完成画面に戻り、変更した差出人が文面に表示されます。

重 要 毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さく印刷されます。差出人を毛筆流麗体で印刷すると、他の書体で印刷したときに比べて読みにくくなる場合があります。

● 差出人設定画面の設定項目

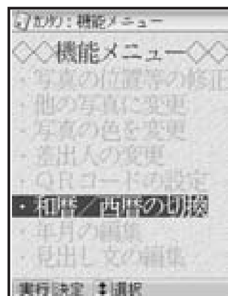
設定項目	設定内容
フォント	書体（フォント）を設定します。 ＞を押すたびに、毛筆流麗体→毛筆楷書体→ゴシック体→丸ゴシック体→明朝体の順に切り換わります。＜を押すと、逆の順序に切り換わります。
文字色	文字の色を設定します。 ＞を押すたびに、黒→赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白→の順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。

※ フォントを「毛筆流麗体」に設定した場合でも、「メール」項目の内容は「丸ゴシック体」で印刷されます。

※ 差出人の文字色の「白」は、全面写真の年賀状で設定すると効果的です。文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」（192ページ）をご覧ください。輪郭をつけないようにした場合に、全面写真の年賀状以外のはがきで「白」を設定すると、差出人は印刷されません。

和暦と西暦を切り換える

1 カンタン作成の完成画面で［機能］を押します。



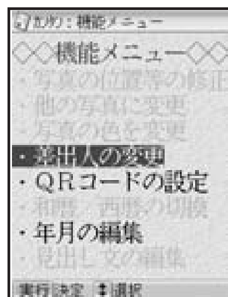
2 ［∧］［∨］で「和暦／西暦の切換」を選び、［実行］を押します。

3 ［∧］［∨］で和暦か西暦を選び、［実行］を押します。

年の表示が切り換わります。

年月を編集する

1 カンタン作成の完成画面で［機能］を押します。



2 ［∧］［∨］で「年月の編集」を選び、［実行］を押します。

3 ［<］［>］で変更したい文字にカーソルを合わせます。

4 文字を編集します。

5 ［実行］を押します。

フォントと文字色を設定する画面が表示されます。

6 ［∧］［∨］で設定する項目を選びます。

7 ［<］［>］で設定する内容を選びます。

8 設定が終わったら［実行］を押します。

カンタン作成の完成画面に戻ります。

●年月の編集のフォントと文字色の設定

設定項目	設定内容
フォント	書体（フォント）を設定します（最初はデザインごとに決められた書体が表示されます）。［>］を押すたびに、毛筆流麗体→毛筆楷書体→ゴシック体→丸ゴシック体→明朝体の順に切り換わります。［<］を押すと、逆の順序に切り換わります。
文字色	文字の色を設定します。［>］を押すたびに、黒→赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白の順で切り換わります。［<］を押すと、逆の順序に切り換わります。

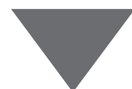
全面写真の年賀状で年月の編集をする場合、行頭に空白を入れて文字の位置を調整してください。空白を入れないと、年月の文字と見出し文の文字が重なって印刷されます。

パーツを組み合わせて文面を作る(組み合わせ作成)

見出し、テキスト、イラスト、写真、差出人などのパーツを選びながら文面を作ることができます。

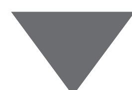
作業の流れ(組み合わせ作成)

フォーマットを選ぶ (▶▶124ページ)



見出し、テキスト、イラスト、写真、差出人などを組み合わせた28種類のフォーマットからお好きなフォーマットを選んでください。

内容を設定する (▶▶125ページ)



見出し、テキスト、イラスト、写真、差出人などの内容を設定します。

- 見出しの設定(▶▶125ページ)
- イラストの設定(▶▶128ページ)
- テキストの設定(▶▶128ページ)
- 写真の設定(▶▶130ページ)
- 差出人の設定(▶▶131ページ)

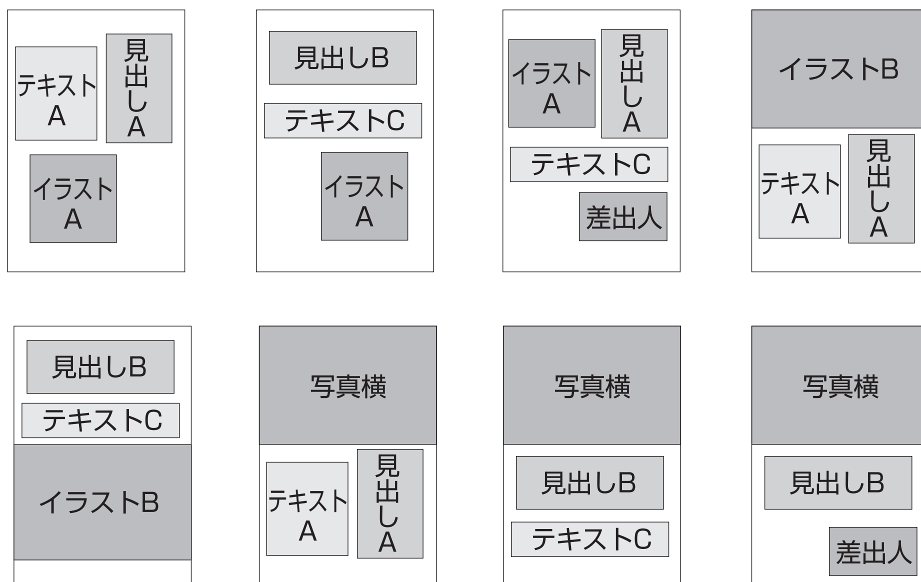
文面を印刷する (▶▶133ページ)

印刷する枚数、はがきの紙質、印字のタイプなど、印刷の条件を設定し、文面を印刷します。

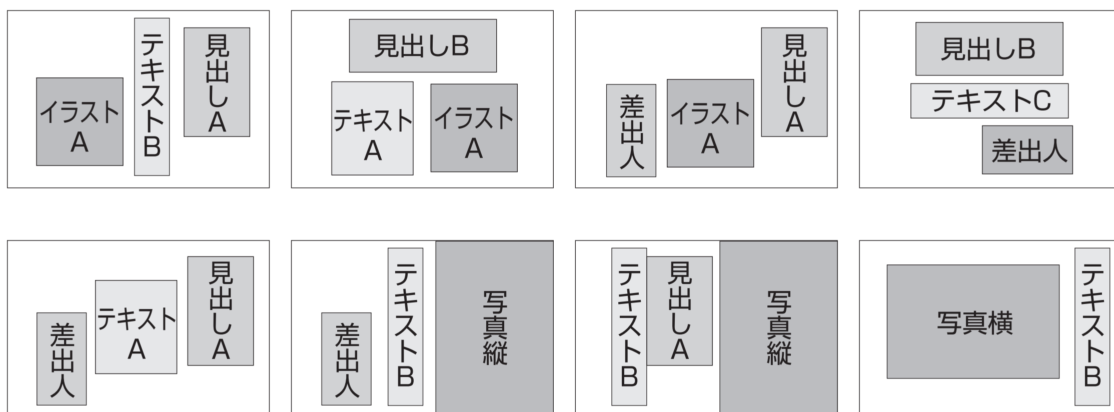
組み合わせ作成のフォーマットの種類

組み合わせ作成では、合計で28種類のフォーマットが使用できます。目的に合わせてお好きなフォーマットを選んでください。以下にフォーマットの代表例を示します。

●縦置きのフォーマットの例



●横置きのフォーマットの例



- 見出し　:2タイプ(A、B)
- テキスト:3タイプ(A、B、C)
- イラスト:2タイプ(A、B)
- 写真　　:2タイプ(縦、横)

※イラストやイラスト見出しは、それぞれのタイプに合ったデザインだけが表示されます。
デザインカタログや画面に表示されるデザインを確認して選んでください。

フォーマットを選ぶ

組み合わせ作成では、はじめにフォーマットを選びます。

1 **△▽◁▷でメニュー画面の「文面」を選び、実行を押します。**

2 **◁▷で文面メニューから「組み合わせ作成」を選び、実行を押します。**

フォーマット選択画面が表示されます。



3 **△▽◁▷でフォーマットを選び、実行を押します。**



作成画面が表示されます。このとき、見出しとイラストはサンプルとして登録されているものが、差出人は前回選択されたものが、仮に表示されます。テキスト、写真は枠だけが表示されます。

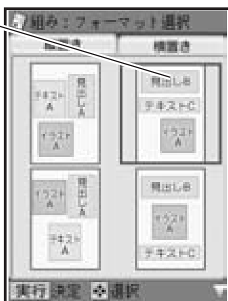
なお、各部品によって枠の色が異なります。

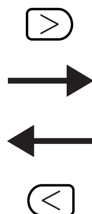
イラスト：赤　**見出し**：緑　**写真**：青
テキスト：空色　**差出人**：桃色

フォーマット選択画面の操作について

フォーマット選択画面は縦置きページと横置きページに分かれています。これらのページを切り換えるには、◁▷を押します。

縦置きページの右側のデザインを選んでいる





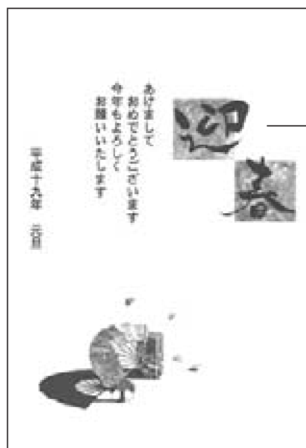


横置きページの左側のデザインに移る

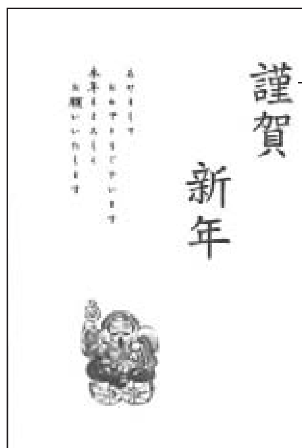
※ ページが切り換わったときは、そのページの先頭のフォーマットにカーソルが移動します。

見出しを決める

見出しを決める方法を説明します。見出しには、イラストの見出しとテキストの見出しがあります。



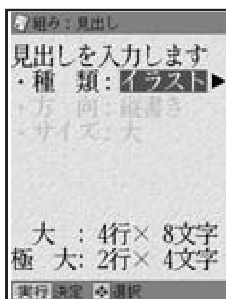
イラストの見出し



テキストの見出し
（フォント：毛筆楷書
文字体：太字）

●イラストの見出しを決める

1 **∧∨＜＞で見出し文の枠（緑）を選び、実 行を押します。**



2 **＜＞で「イラスト」を選び、実 行を押します。**

イラストの見出しを選ぶ画面が表示されます。

選んだフォーマットのタイプ（AまたはB）の見出しだけが表示されます。



3 **∧∨＜＞でイラストの見出しを選び、実 行を押します。**

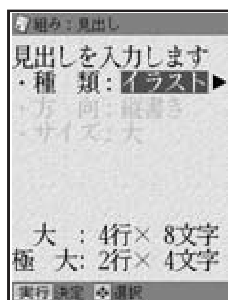
作成画面に戻り、選んだイラストの見出しが文面に表示されます。



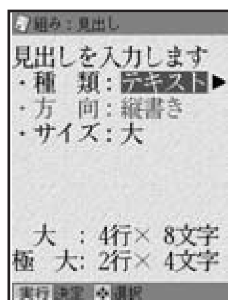
※作成途中の文面を保存することができます。
「文面の登録と呼び出し」
▶▶140ページ

● テキストの見出しを決める

1 △▽◁▷で見出し文の枠(緑)を選び、実行を押します。



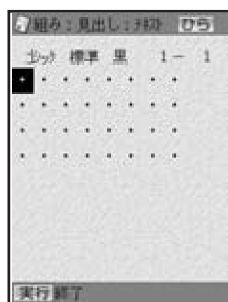
2 ◁▷で「テキスト」を選びます。



3 ▽で「サイズ」の項目を反転させて、◁▷で、「大」または「極大」を選び、実行を押します。

文字を入力する画面が表示されます。

※見出しの「方向」の「縦書き」または「横書き」は変更することはできません。



4 テキストの見出しにしたい文字を入力します。

「文字の入力」
▶▶ 35ページ

5 テキストの見出しの入力が終わったら、実行を押します。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

実行を押す前にシフト かな小 プリント(プレビュー)を押すと、入力したテキストの見出しのイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。

6 ◁で「はい」を選び、実行を押します。

作成画面に戻り、入力したテキストの見出しが文面に表示されます。

※テキストの見出しは、行方向が自動的にセンタリングされます。

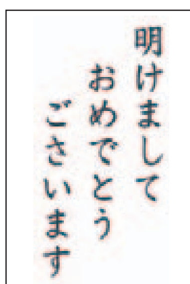


※作成途中の文面を保存することができます。

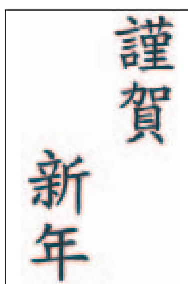
「文面の登録と呼び出し」
▶▶140ページ

テキストの見出しのタイプと入力できる文字数について

テキストの見出しとして入力できるタイプは次の2種類です。



大
（文字サイズ：24 ポイント）



極大
（文字サイズ：48 ポイント）

テキストの見出し枠に入力できる行数と文字数は、選んだフォーマット中のテキスト領域と印字方向によって次のようになります。

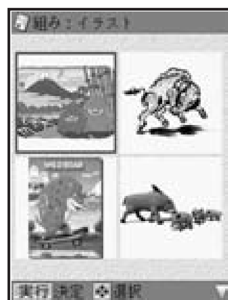
フォーマット中の領域名	印字方向	文字大		文字極大	
		最大行数	最大文字数	最大行数	最大文字数
見出しA	縦書き	4	8	2	4
見出しB	横書き	3	8	1	4

イラストを決める

1 **∧∨＜＞でイラスト枠(赤)を選び、実行を押します。**

2 **∧∨で「イラストを選択する」を選び、実行を押します。**

選んだフォーマットのタイプ(AまたはB)のイラストだけが表示されます。



3 **∧∨＜＞でイラストを選び、実行を押します。**

作成画面に戻り、選んだイラストが文面に表示されます。



※作成途中の文面を保存することができます。

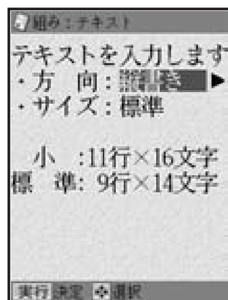
「文面の登録と呼び出し」
▶▶140ページ

文章を決める

テキスト(文章)を文面に入れる方法を説明します。

1 **∧∨＜＞でテキストの枠(空色)を選び、実行を押します。**

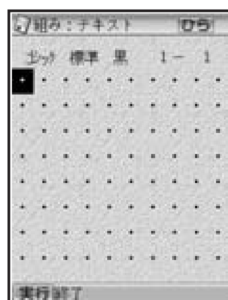
ここでは、テキストAの画面で説明します。



2 **∧∨＜＞でテキストの方向とサイズを選び、実行を押します。**

文章を入力する画面が表示されます。

※テキストの方向は、テキストBは縦書きのみ、テキストCは横書きのみになります。



3 **文章を入力します。**

「文字の入力」
▶▶ 35ページ

シフト かな小 プレビュー プリントを押すと、入力した文章のイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。

4 **文章の入力が終わったら、実行を押します。**

入力の終了を確認する画面が表示されます。

※テキストは、行方向が自動的にセンタリングされます。

5 **＜で「はい」を選び実行を押します。**

作成画面に戻り、入力した文章が文面に表示されます。

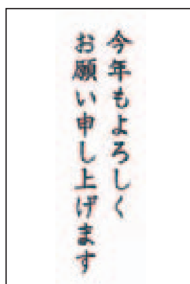
※作成途中の文面を保存することができます。

「文面の登録と呼び出し」
▶▶140ページ

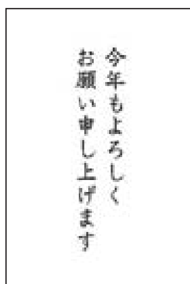
重要 毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さく印刷されます。テキストを毛筆流麗体で印刷すると、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。

テキストのタイプと入力できる文字数について

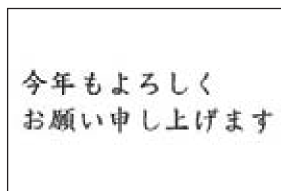
テキストとして入力できるタイプは次の4種類です。



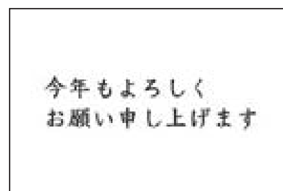
縦書き：文字標準
（文字サイズ：
12ポイント）



縦書き：文字小※1
（文字サイズ：
10ポイント）



横書き：文字標準
（文字サイズ：
12ポイント）



横書き：文字小※1
（文字サイズ：
10ポイント）

※1　桁方向の文字位置は、空白を入力することで調整しています。

テキスト枠に入力できる行数と文字数は、選んだフォーマット中のテキスト領域と印字方向によって次のようになります。

フォーマット中の領域名	印字方向	文字小		文字標準	
		最大行数	最大文字数	最大行数	最大文字数
テキストA	縦書き	11	16	9	14
テキストA	横書き	13	14	11	12
テキストB	縦書き	5	26	4	22
テキストC	横書き	5	26	4	22

※テキストBは縦書きのみ、テキストCは横書きのみ

写真を決める

文面に入れる写真を決める方法を説明します。写真を決めるには、写真が入っているメモリーカードが必要になります。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **⋀⋁＜＞で写真の枠(青)を選び、実行を押します。**

写真の一覧(サムネイル)が表示されます。



※サムネイルは、デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
※サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、プレビューで写真が表示される場合は、印刷できます。
※写真が1000枚以上ある場合は、すべての写真を取り込むことができません(最大で999枚まで)。
※動画は表示されません。

3 **⋀⋁＜＞で写真を選び、実行を押します。**

写真が画面全体に表示されます。



4 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**5**へ進みます。

「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

5 **実行を押します。**

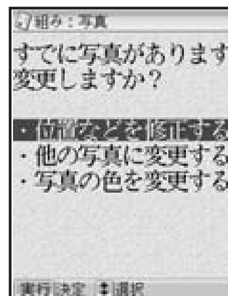
作成画面に戻り、写真が文面に表示されます。



重要 文面で印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

●すでに写真が入っているとき

すでに写真が入っているときは、次の画面が表示されます。



この場合は、目的に応じて、⋀⋁で使いたい機能を選び、実行を押してください。

- 位置などを修正する　「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」 ▶▶ 117ページ
- 他の写真に変更する　「写真を決める」と同様に操作します。
- 写真の色を変更する　「写真の色や濃さを変える」 ▶▶ 119ページ

差出人を決める

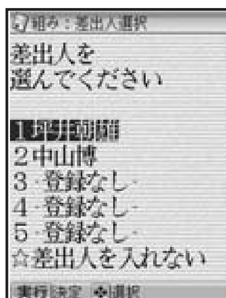
ここでは、あらかじめ差出人が登録されているときの操作方法について説明します。差出人の登録については、81ページを参照してください。

1 **△▽＜＞で差出人の枠(桃色)を選び、実行を押します。**

2 **△▽で「差出人の変更」を選び、実行を押します。**

- 「QRコードの設定」を選ぶと、差出人枠の中にQRコードを印刷することができます。

「差出人情報をQRコードとして印刷する」▶▶ 144ページ



3 **△▽で差出人を選びます。**

差出人の分類表示が、すべて「－登録なし－」になっているときは、差出人が1人も登録されていません。新規に登録してから、差出人を選んでください。

「差出人を登録する」 ▶▶ 81ページ

「☆差出人を入れない」を選んで、実行を押すと差出人の設定をやめて、組み合わせ作成の作成画面に戻ります。

4 **実行を押します。**

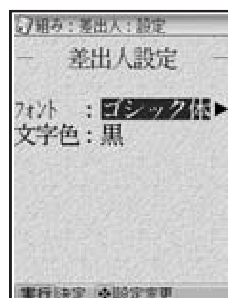
選んだ差出人の内容が表示されます。

この画面で シフト かな小 プリント(プレビュー) を押すと、差出人のイメージが確認できます。はっきりズーム を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消し を押してください。



5 **内容を確認したら実行を押します。**

差出人設定画面が表示されます。



6 **△▽で設定する項目を選びます。**

7 **＜＞で設定する内容を選びます。**

8 **設定が終わったら実行を押します。**

作成画面に戻り、差出人が文面に表示されます。



重要 毛筆流麗体で印刷すると、他の書体よりも文字が小さく印刷されます。テキストを毛筆流麗体で印刷すると、他の書体に比べて読みにくくなる場合があります。

● 差出人設定画面の設定項目

設定項目	設定内容
フォント	書体(フォント)を設定します。 ［＞］を押すたびに、毛筆流麗体→毛筆楷書体→ゴシック体→丸ゴシック体→明朝体の順に切り換わります。［＜］を押すと、逆の順序に切り換わります。
文字色	文字の色を設定します。 ［＞］を押すたびに、黒→赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白の順で切り換わります。 ［＜］を押すと、逆の順序に切り換わります。

※ フォントを「毛筆流麗体」に設定した場合でも、「メール」項目の内容は「丸ゴシック体」で印刷されます。

※ 差出人の文字色に「白」を設定した場合、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」(192ページ)をご覧ください。白色の文字に輪郭をつけないようにした場合は、差出人は印刷されません。

選んだ内容を変更する

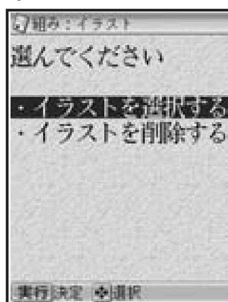
「現在のイラストを別のイラストに変更したい」など、現在の内容を別のものに変更したいときは、設定の操作(125ページ)で、もう一度選び直してください。
ただし、見出し(テキスト)やテキストは、前回と同じフォーマットを選ばないと消えてしまいます。

選んだ内容を削除する

組み合わせ作成の作成画面で、文面に選んだイラスト、差出人を削除する方法について説明します。

●イラストを削除する

1 ［∧］［∨］［＜］［＞］でイラストの枠(赤)を選び、［実行］を押します。



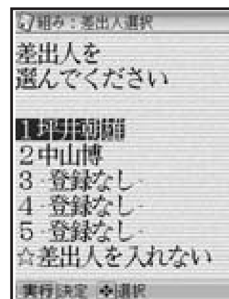
2 ［∧］［∨］で「イラストを削除する」を選び、［実行］を押します。

イラストが削除され、作成画面に戻ります。このとき、削除されるのはイラストだけで枠は削除されません。

●差出人を削除する

1 ［∧］［∨］［＜］［＞］で差出人の枠(桃色)を選び、［実行］を押します。

2 ［∧］［∨］で「差出人の変更」を選び、［実行］を押します。



3 ［∧］［∨］で「☆差出人を入れない」を選び、［実行］を押します。

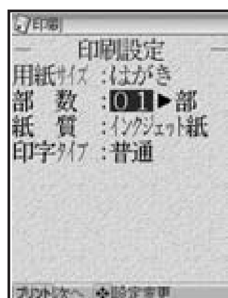
デザインから差出人が削除され、作成画面に戻ります。このとき、削除されるのは差出人だけで、差出人の枠は削除されません。
なお、差出人の登録内容は保持されています。

文面を印刷する（組み合わせ作成）

「組み合わせ作成」で作成した文面を印刷する方法を説明します。

1 **組み合わせ作成の作成画面で プレビュー/プリント を押します。**

印刷設定の画面が表示されます。



プレビュー/プリント を押す前に シフト/かな小 プレビュー/プリント を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。 はっきりズーム を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消し を押してください。

2 **∧∨で設定する項目を選びます。**

3 **＜＞で設定する内容を選びます。**

4 **設定が終わったら プレビュー/プリント を押します。**

用紙セットのメッセージが表示されます。



5 **用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。**

ここでは、はがきの裏面に印刷するようにセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

6 **実 行 を押します。**

はがきの印刷が始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重 要 印刷を中止するときは、取消し を押します。

7 **印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。**

● 印刷設定画面の設定項目

設定項目	設定内容
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。 ※ 文面の印刷では、はがきサイズ固定になります。
部数	印刷する枚数を設定します。 設定可能部数：0～99 数字キーで直接枚数を設定することもできます。数字は必ず2桁で入力してください。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するときに選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり（印字品質）を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。

オリジナルの文面を作る(オリジナルはがき作成)

案内状など文章を自由に作成できます。背景にイラストや写真を入れたり、差出人を入れることができるフォーマットを使って作成していきます。

作業の流れ(オリジナルはがき作成)

作成方法には2通りの方法があります。目的に合わせてお選びください。

すべて新規に作成する

フォーマットを選ぶ (▶▶136ページ)

7種類のフォーマットの中から、作りたい文面に近いものを選んでください。

登録されている文例を利用しながら作成する

文例を選ぶ (▶▶136ページ)

「同窓会の案内」「ゴルフコンペの案内」など10種類の文例入りのフォーマットの中から、作りたい文面に近いものを選んでください。

内容を設定する (▶▶137ページ)

テキスト、背景、差出人などの内容を設定します。

- **テキストの設定**
- **差出人の設定**
- **背景の設定**

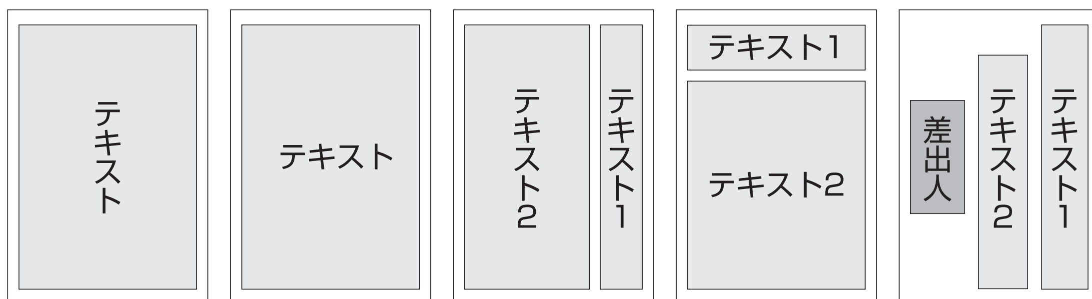
文面を印刷する (▶▶133ページ)

印刷する枚数、はがきの紙質、印字のタイプなど、印刷の条件を設定し、文面を印刷します。
操作方法については、組み合わせ作成と同様です。

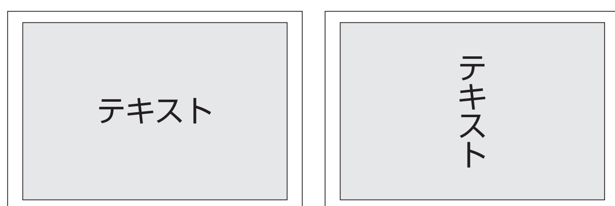
オリジナルはがき作成のフォーマット一覧

すべて新規に作成する場合は、次の7種類のフォーマットが使用できます。
目的に合わせてお好きなフォーマットを選んでください。

●縦置きのフォーマット



●横置きのフォーマット



※「テキスト」の文字の向きで「縦書き」か「横書き」かを表しています。

フォーマットを選ぶ(新規に作成する)

すべて新規に作成する場合は、次のように操作して作成画面を表示させます。

1 ∧∨<>でメニュー画面の「文面」を選び、実行を押します。

2 <>で文面メニューから「オリジナルはがき作成」を選び、実行を押します。

3 ∧∨で「新規に作成する」を選び、実行を押します。

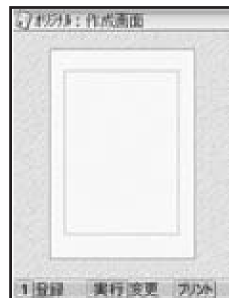
フォーマット選択画面が表示されます。

「フォーマット選択画面の操作について」
▶▶ 124ページ



4 ∧∨<>でフォーマットを選び、実行を押します。

作成画面が表示されます。



5 次ページ以降の操作を行って、テキストや差出人を入力してください。

印刷するときは、133ページを参照してください。

登録されている文例を利用しながら作成する(文例を参照する)

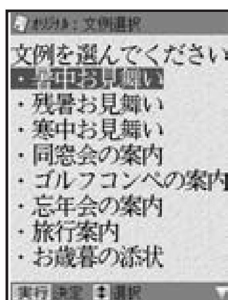
内蔵されている文例を利用しながら作成する場合は、次のように操作して作成画面を表示させます。
文例の内容は、別冊の「デザインカタログ」を参照してください。

1 ∧∨<>でメニュー画面の「文面」を選び、実行を押します。

2 <>で文面メニューから「オリジナルはがき作成」を選び、実行を押します。

3 ∧∨で「文例を参照する」を選び、実行を押します。

文例選択画面が表示されます。



4 ∧∨で文例を選び、実行を押します。

文例が呼び出されて、作成画面が表示されます。



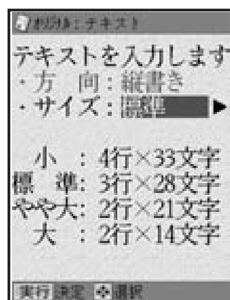
5 次ページ以降の操作を行って、テキストや差出人を入力してください。

印刷するときは、133ページを参照してください。

テキストを入力する

1 **作成画面から△▽＜＞で入力したいテキストの枠を選び、実行を押します。**

テキストを入力する枠は水色で表示されています。



2 **＜＞で文字のサイズを選び、実行を押します。**

- 文例を参照して作成している場合など、すでに文字サイズが指定されている場合は、その文字サイズが反転します。ここで他の文字サイズを選ぶと、入力済みのテキストの一部が消えることがあります。
- 小/標準/やや大/大の4種類が選べます。

3 **組み合わせ作成時と同様にして、テキストを入力します。**

「文章を決める」 ▶▶ 128ページ 3 以降の操作

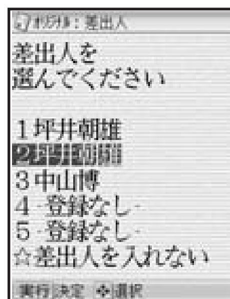
差出人を入力する

1 **作成画面から△▽＜＞で入力したい差出人の枠を選び、実行を押します。**

差出人を入力する枠は桃色で表示されています。

2 **△▽で「差出人の変更」を選び、実行を押します。**

- 「QRコードの設定」を選ぶと、差出人枠の中にQRコードを印刷することができます。



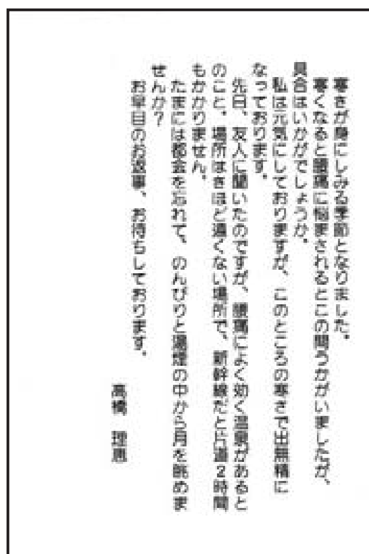
「差出人情報をQRコードとして印刷する」
▶▶ 144ページ

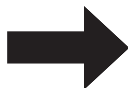
3 **組み合わせ作成時と同様にして、差出人を入力します。**

「差出人を決める」 ▶▶ 131ページ 3 以降の操作

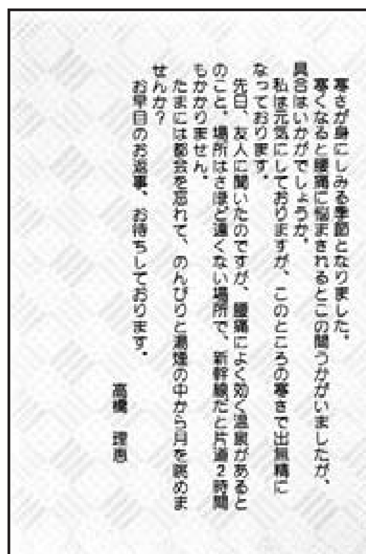
イラスト背景を入れる

背景なし


寒さが身にしみる季節となりました。
寒くなると腰痛に悩まされるとこの間うかがいましたが、
具合はいかがでしょうか。
私は元気にしておりますが、このところの寒さで出無精に
なっております。
先日、友人に聞いたのですが、腰痛によく効く温泉があると
のこと。場所はさほど遠くない場所で、新幹線だと片道2時間
もかかりません。
たまには都会を忘れて、のんびりと湯煙の中から月を眺めま
せんか？
お早目のお返事、お待ちしております。
高橋　理恵



背景あり


寒さが身にしみる季節となりました。
寒くなると腰痛に悩まされるとこの間うかがいましたが、
具合はいかがでしょうか。
私は元気にしておりますが、このところの寒さで出無精に
なっております。
先日、友人に聞いたのですが、腰痛によく効く温泉があると
のこと。場所はさほど遠くない場所で、新幹線だと片道2時間
もかかりません。
たまには都会を忘れて、のんびりと湯煙の中から月を眺めま
せんか？
お早目のお返事、お待ちしております。
高橋　理恵

1 **作成画面から ∧ ∨ ＜ ＞ で背景の枠を選び、実行 を押します。**

背景を入れる枠は赤色で表示されています。

2 **∧ ∨ で「イラストの背景を選ぶ」を選び、実行 を押します。**

背景の選択画面になります。

3 **∧ ∨ ＜ ＞ で背景を選び、実行 を押します。**

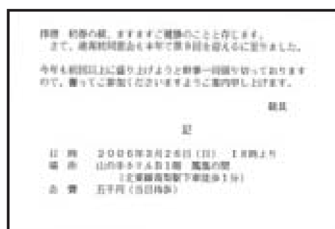
背景が入り、入力画面に戻ります。

- 10種類の背景を選ぶことができます。
- 「背景をつけない」では、背景は入りません。

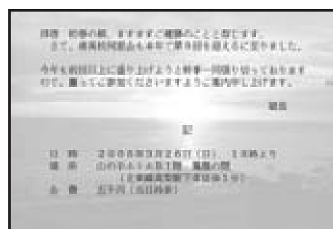
背景として写真を入れる

背景として写真を入れることができます。写真の色はカラーはもちろん白黒やセピアに変えることができます。また、写真を薄く印刷することもできるので、写真の上に文字を入れたい場合などに便利です。

背景なし



背景あり



1 **背景として使いたい写真が保存されているメモリーカードをセットします。**

2 **作成画面から ∧∨＜＞で背景の枠を選び、実行を押します。**

背景を入れる枠は赤色で表示されています。

3 **∧∨で「写真を背景にする」を選び、実行を押します。**

メモリーカード内の写真の一覧が表示されます。



4 **∧∨＜＞で背景にしたい写真を選び、実行を押します。**

5 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**6**に進みます。

「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

6 **実行を押します。**

写真が入り、作成画面に戻ります。

●写真の色を変更したり、背景を薄く印刷したいとき

① 6の操作後∧∨＜＞で背景の枠を選び、実行を押します。

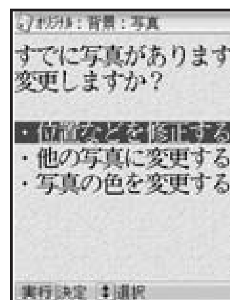
② ∧∨で「写真を背景にする」を選び、実行を押します。

③ ∧∨で「写真の色を変更する」を選び、実行を押します。

以後の操作は、119ページ「写真の色や濃さを変える」を参照してください。

●すでに背景として写真が入っているとき

すでに写真が入っているときは、次の画面が表示されます。



この場合は、目的に応じて、∧∨で使いたい機能を選び、実行を押してください。

- 位置などを修正する ･･･ 「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」 ▶▶ 117ページ
- 他の写真に変更する ･･･ 「背景として写真を入れる」と同様に操作します。
- 写真の色を変更する ･･･ 「写真の色や濃さを変える」 ▶▶ 119ページ

文面の登録と呼び出し

完成した文面や作成途中の文面を、本体に3個・メモリーカードに4個まで登録できます。登録した文面は、あとから呼び出して、内容を修正したり印刷したりできます。

本体とメモリーカードでは、登録時に次の内容が異なります。
- 本体には、写真データは登録されない(同じ写真データをご使用になる場合は、写真データをメモリーカードから消さないようにご注意ください)。

文面を登録する

組み合わせ作成・オリジナルはがき作成では、文面に何もデータがない場合は登録できません。
また、差出人・外字の内容は登録できません。

1 **メモリーカードに登録する場合は、メモリーカードをセットします。**

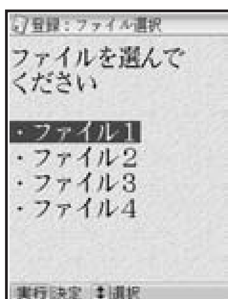
「メモリーカードをセットする」 ▶▶21ページ

2 **カンタン作成の完成画面、または組み合わせ作成・オリジナルはがき作成の作成画面で、[1](登録)を押します。**

3 **[∧][∨]で登録する場所を選び、[実行]を押します。**

ファイル選択の画面が表示されます。

メモリーカード選択時



本体選択時



4 **登録先のファイルを指定します。**

- メモリーカード選択時
  [∧][∨]で登録先のファイルを選び、[実行]を押します。
  すでに登録済みの文面があるときは、ファイル名の先頭に○が付きます。
- 本体選択時
  [<][>]で登録先のファイルを選び、[実行]を押します。

文面が登録され、元の画面に戻ります。

すでに文面が登録されているファイルを選んだ場合は、新しい文面に書き換えるかどうか確認するメッセージが表示されます。

登録した文面を呼び出す

1 **メモリーカードから呼び出す場合は、文面を登録したメモリーカードをセットします。**

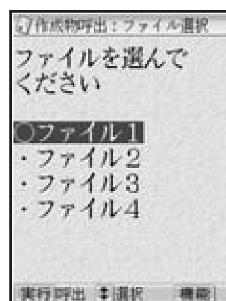
2 **∧∨＜＞でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。**

3 **∧∨＜＞で文面メニューから「作成物呼出」を選び、実行を押します。**

4 **∧∨で「メモリーカード」または「本体」を選び、実行を押します。**

ファイル選択の画面が表示されます（メモリーカード登録時は、登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています）。

メモリーカード選択時　本体選択時





5 **呼び出すファイルを指定します。**

- メモリーカード選択時
  ∧∨で呼び出すファイルを選び、実行を押します。
- 本体選択時
  ＜ ＞ で呼び出すファイルを選び、実行を押します。

本体に登録した写真入りデザインの文面を呼び出しても写真は表示されませんので、使いたい写真データを入れなおしてください。

- 差出人の内容は登録されていません。このため、文面を登録後、本体の差出人を変更した場合は、呼び出し時に差出人の内容が変わります。
- 外字の内容は登録されません。文面呼び出し時は、外字の内容を確認することをおすすめします。

登録した文面を削除する

1 メモリーカードに登録した文面を削除する場合は、文面を登録したメモリーカードをセットします。

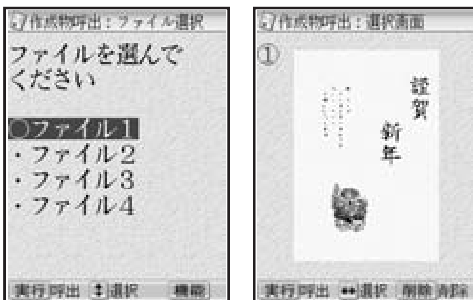
2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。

3 ∧∨＜＞で文面メニューから「作成物呼出」を選び、実行を押します。

4 ∧∨で「メモリーカード」または「本体」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

メモリーカード選択時　本体選択時



5 削除するファイルを指定します。

- メモリーカード選択時
  ∧∨で削除するファイルを選び、機能を押します。
  ∧∨で「登録データの削除」を選び、実行を押します。
  ＜＞で「はい」を選んで、実行を押します。
- 本体選択時
  ＜＞で呼び出すファイルを選び、削除を押します。
  ＜＞で「はい」を選んで、実行を押します。

ファイル名を変更する

メモリーカードに登録した内容のファイル名を分かりやすい名前に変更することができます。

1 文面を登録したメモリーカードをセットします。

2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。

3 ∧∨＜＞で文面メニューから「作成物呼出」を選び、実行を押します。

4 ∧∨で「メモリーカード」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

5 ∧∨で名称を変更したいファイルを選び、機能を押します。

6 ∧∨で「ファイル名の修正」を選び、実行を押します。

7 削除を何回か押して、現在のファイル名を削除します。

8 新しいファイル名を入力して実行を押します。

9 ＜＞で「はい」を選び、実行を押します。

ファイル名の選択画面に戻ります。
ファイル名自体は、本体に記憶され、メモリーカードには登録されません。

差出人について

文面に入れる差出人は、宛名に印刷する差出人と共通で使用します。差出人の登録、修正、削除は宛名メニューからでも文面メニューからでも行えます。ここでは、文面メニューからの登録手順を説明します。差出人についての詳しい操作は、下記のページを参照してください。

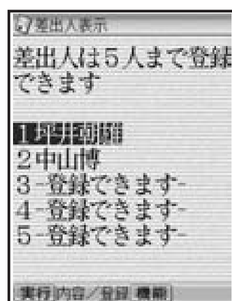
「差出人を登録する」▶▶ 81ページ
「差出人の登録内容を確認する」▶▶ 85ページ
「差出人を複写する」▶▶ 86ページ
「差出人を修正する」▶▶ 87ページ
「差出人を削除する」▶▶ 88ページ

差出人の登録

1 **[∧][∨][<][>]でメニュー画面から「文面」を選び、[実 行]を押します。**

2 **[∧][∨][<][>]で文面メニューから「差出人登録」を選び、[実 行]を押します。**

差出人表示になります。登録方法については、「差出人を登録する」(81ページ)を参照してください。



差出人情報をQRコードとして印刷する

QRコードを文面の差出人部分に印刷することができます。
QRコードにできるのは、差出人の名前、電話番号、メールアドレスです。

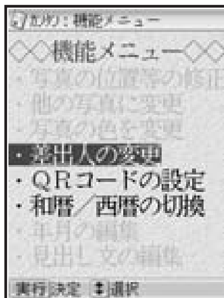


QRコード

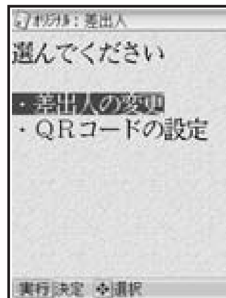
- QRコードは、NTT DoCoMo社の携帯電話の電話帳登録機能に対応した形式で作成されています。その他の通信事業社の携帯電話では、電話帳への登録ができないことがあります。
- QRコードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

1 カンタン作成の場合は、完成画面から［機能］を、組み合わせ作成・オリジナルはがき作成の場合は、作成画面で差出人の枠を選んで、［実 行］を押します。

カンタン作成



組み合わせ作成／オリジナルはがき作成



2 ［∧］［∨］で「ＱＲコードの設定」を選び、［実 行］を押します。

3 ［＜］［＞］で「する」を選んで、［実 行］を押します。

- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 印刷したQRコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。
- 携帯電話に登録するときには、差出人のふりがなをご自分で入力してください。
- QRコードを印刷する場合には、「インクジェット紙」または「インクジェット紙　光沢」の官製はがきをご利用ください。
  インクジェット対応として市販されている私製はがきでも、インクがにじむ用紙があり、QRコードの印刷に適さないものがあります。

● QR コードに登録可能な文字

- 名前
  JISコード部分（JIS X0208）を登録します。
  JIS外の漢字・外字・カシオオリジナル記号は登録できません。
- 電話番号
  0〜9までを登録します。
  電話マークや（代）（直）などの記号は登録できません。
- メールアドレス
  0〜9/A〜Z/a〜z/！&（），- _ . /：？ @を登録します。
  空白は登録しません。

登録できない文字は無視され、後ろの文字が詰められます。

MEMO

第 6 章

デジタル写真の印刷

印刷の種類

デジタル写真プリントでは、デジタルカメラで撮った写真で次のような印刷ができます。

●選んでプリント



L判（フチなし、日付あり）



L判（フチあり）

次のような設定ができます。

・フチあり/なし
・日付あり/なし
・カラー/白黒/セピア

●インデックスプリント



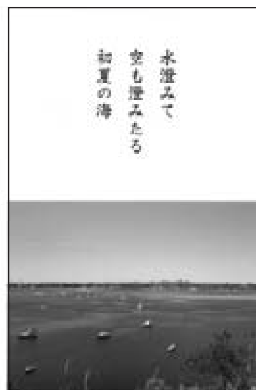
●コメントプリント



●シールプリント



●写真俳句



●その他

・DPOFプリントができます。

選んで印刷する(選んでプリント)

メモリーカードの中から好きな写真を選んで印刷(選んでプリント)できます。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **∧∨<>でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。**

3 **∧∨<>で「選んでプリント」を選び、実行を押します。**

写真の一覧(サムネイル)が表示されます。

※デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
※サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、プレビューで写真が表示されている場合は、印刷できます。
※写真が1000枚以上ある場合は、すべての写真を取り込むことができません(最大で999枚まで)。
※動画は表示されません。

4 **∧∨<>で印刷したい写真を選び、実行を押します。**

印刷の枚数を設定できるようになります。

写真の番号を入力して選ぶこともできます。



5 **数字キーまたは<>で枚数を指定し、実行を押します。**

プレビュー/プリントを押す前にシフト/かな小 プレビュー/プリントを押すと、仕上がりのイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。

枚数は、1枚の写真につき99枚まで設定できます。

ほかの写真に枚数を設定する場合は、手順**4**から**5**を繰り返してください。

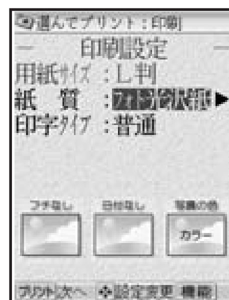
6 **プレビュー/プリントを押します。**

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます



7 **<>で用紙サイズを選び、プレビュー/プリントを押します。**

印刷設定の画面が表示されます。



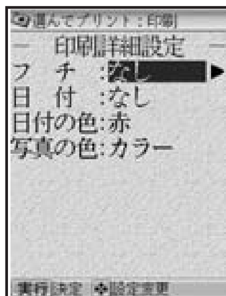
8 ∧∨で設定する項目を選びます。

9 ＜＞で設定する内容を選びます。

10 機能を押します。

印刷詳細設定の画面が表示されます。

設定を変更する必要がなければ、そのまま手順13に進みます。



11 ∧∨で設定する項目を選びます。

12 ＜＞で設定する内容を選びます。

13 すべての設定が終わったら実行を押します。

印刷設定画面に戻ります。

14 プレビュー/プリントを押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

● 印刷設定画面の設定項目（選んでプリント）

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがき、10×15タブ、A6から選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶25ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「あり」で印刷すると、写真(画像)のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり/なしを設定します。 なし：日付を印刷しません。 あり：日付を印刷します。 ※データ自体に日付に関する情報がない場合は、日付を印刷することはできません。
日付の色	日付の色を設定します。 ＞を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白→黒の順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色を設定します。 ＞を押すたびに、カラー→白黒→セピアの順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。

15 **用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。**

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

16 **[実 行]を押します。**

写真の印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要
- 印刷を中止するときは、[取消し] を押します。
- 「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

17 **印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。**

すべての写真を同じ枚数印刷するとき

印刷する枚数をすべての写真に一括で設定することもできます。

① **写真の一覧が表示されている画面で、[機能]を押します。**
枚数一括指定画面が表示されます。

② **[＜][＞]で枚数を指定し、[実 行]を押します。**
すべての写真の枚数に、指定した枚数が設定されます。

印刷枚数の設定について

印刷する枚数の設定は、数字キーで直接数字を入力する設定のしかたもあります。数字は必ず2桁で入力してください。

例 8枚のとき：[0][8]

一覧を印刷する（インデックスプリント）

デジタル写真プリントでは、写真の一覧を印刷（インデックスプリント）できます。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 ［∧］［∨］［＜］［＞］でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、［実行］を押します。



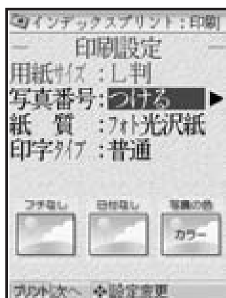
3 ［∧］［∨］［＜］［＞］で「インデックスプリント」を選び、［実行］を押します。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。



4 ［＜］［＞］で用紙サイズを選び、［プレビュー／プリント］を押します。

印刷設定の画面が表示されます。



5 ［∧］［∨］で設定する項目を選びます。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 153ページ

6 ［＜］［＞］で設定する内容を選びます。

※インデックスプリントでは、「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

7 設定が終わったら［プレビュー／プリント］を押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

8 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

9 ［実行］を押します。

インデックスプリントの印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要 印刷を中止するときは、［取消し］を押します。

10 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

● 印刷設定画面の設定項目(インデックスプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがき、10×15タブ、A6から選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶ 25ページ
写真番号	写真番号をつける/つけないを設定します。 つける：写真番号をつけて印刷します。 つけない：写真番号をつけないで印刷します。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙；写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通；通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりは劣りますが、印刷の時間は短くなります。

デジタルカメラの設定にしたがって印刷する(DPOF印刷)

DPOF(Digital Print Order Format)対応のデジタルカメラなどでは、DPOF機能によりカメラ側で印刷する写真や、印刷する枚数の指定ができます。

●扱える写真のデータ

本機のDPOF機能で印刷できる写真は、DPOF対応デジタルカメラなどで撮影した写真で以下の条件を満たすものです。

(1) 静止画(DCF Exif2.1、JPEG準拠)
(2) 対応ファイルサイズ　6MB以下
(3) 最小画素数　160 × 120 ピクセル

●DPOF機能で有効な設定

デジタルカメラや携帯電話で設定した以下の内容

・通常印刷(用紙に写真を一枚印刷)する写真の指定
・印刷枚数
・日付印刷の設定(本機側から文字色の指定ができます)。

重 要　デジタルカメラ側の設定方法や、設定できる機能は、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

※DPOFで写真をコメントプリントやシールプリントすることはできません。
※写真のトリミング・回転などをデジタルカメラや携帯電話で設定していても、DPOF印刷時は無効になります。
※印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。

1 デジタルカメラのDPOF機能で印刷する画像を指定しておきます。

2 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

3 ∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実 行を押します。



4 ∧∨＜＞で「DPOFプリント」を選び、実 行を押します。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。



5 ＜＞で用紙サイズを選び、プレビュー/プリントを押します。

印刷設定の画面が表示されます。



6 ∧∨で設定する項目を選びます。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 156ページ

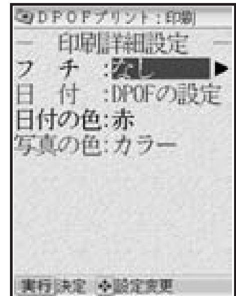
7 ＜＞で設定する内容を選びます。

8 機能を押します。

印刷詳細設定の画面が表示されます。

設定の変更の必要がなければ、実 行を押して、手順12に進みます。

※ここでは「フチのあり/なし」と「日付の色」が変更できます。



9 ∧∨で設定する項目を選びます。

10 ＜＞で設定する内容を選びます。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 156ページ

11 すべての設定が終わったら実 行を押します。

印刷設定画面に戻ります。

12 プレビュー/プリントを押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

13 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

14 実 行を押します。

DPOFプリントの印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重 要
- 印刷を中止するときは、取消しを押します。
- 「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

15 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

● 印刷設定画面の設定項目(DPOFプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。 L判、10×15タブ、はがき、A6から選びます。 「使用できる用紙」 ▶▶ 25ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙；写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通；通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりは劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「あり」で印刷すると、写真(画像)のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり/なしは、「DPOFの設定」に設定され、常にデジタルカメラ側での設定内容に従います。
日付の色	日付の色を設定します。 [>]を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白→黒の順で切り換わります。 [<]を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色は「カラー」固定になります。

写真に文字を入れて印刷する(コメントプリント)

デジタル写真プリントでは、写真に文字を合成して印刷することができます。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **[∧][∨][＜][＞]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実 行]を押します。**

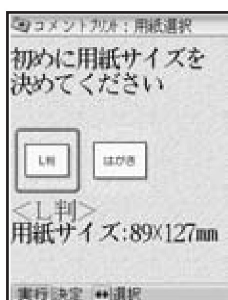


3 **[∧][∨][＜][＞]で「コメントプリント」を選び、[実 行]を押します。**

4 **[∧][∨]で「新規に作成する」を選び、[実 行]を押します。**

- メモリーカードに登録済みのデータを呼び出すときは、メモリーカードをセットして「作成物を呼び出す」を選びます。
- 用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

※用紙サイズは「L判」と「はがき」の2種類のみとなります。



5 **[＜][＞]で用紙サイズを選び、[実 行]を押します。**

写真の一覧が表示されます。

6 **[∧][∨][＜][＞]で写真を選び、[実 行]を押します。**



7 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**8**に進みます。

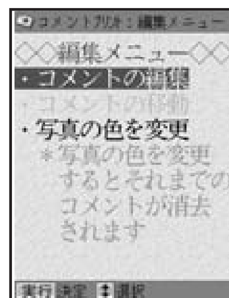
「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

8 **[実 行]を押します。**

完成画面が表示されます。



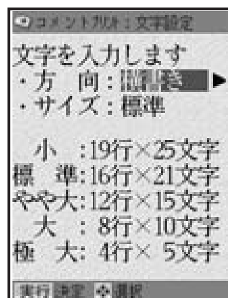
9 **[2](編集)を押します。**



10 ∧∨で「コメントの編集」を選び、実行を押します。

11 ∧∨で入力するコメントの番号を選び、実行を押します。

- コメントは3ヵ所まで入力することができます。
- 文字の方向とサイズを設定する画面が表示されます。



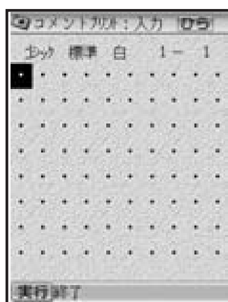
12 ∧∨で設定する項目を選びます。

13 ＜＞で設定する内容を選びます。

「文字設定の設定項目」
▶▶ 160ページ

14 設定が終わったら実行を押します。

文字入力の画面が表示されます。



15 文字を入力します。

「文字の入力」
▶▶ 35ページ

16 入力が終わったら、実行を押します。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

17 ＜で「はい」を選び、実行を押します。

入力した文字の位置を設定する画面が表示されます。

青色の枠が文字の位置で、△が文字の向きを表しています。

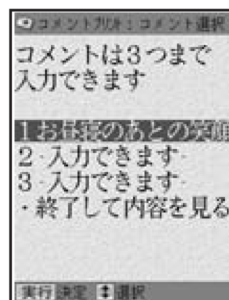
18 操作ガイドにしたがって文字の向き、位置を調整します。

調整する必要がなければそのまま手順19に進みます。

※コメントを端に配置すると印刷時に切れることがあります。コメントは少し内側に配置するようにしてください。

19 文字の位置を確認して、実行を押します。

コメントが入力されて、コメントの番号を選ぶ画面に戻ります。2カ所以上コメントを入力したい・コメントを再編集したいときは、11以降の操作を繰り返してください。



20 すべてのコメントの入力が終わったら、∨で「終了して内容を見る」を選び、実行を押します。

完成画面が表示されます。

シフト かな小 プレビュー プリント を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。

21 プレビュー プリントを押します。

印刷設定の画面が表示されます。

22 印刷する部数／紙質／印字タイプを設定して、[プレビュー プリント]を押します。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 160ページ

※「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

23 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

24 [実行]を押します。

コメントプリントが始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重要 印刷を中止するときは、[取消し]を押します。

25 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

入力したコメントを修正する

① コメントプリントの編集メニュー（157ページの手順 9 の状態）から、[∧][∨]で「コメントの編集」を選び、[実行]を押します。

② [∧] [∨] で修正したいコメントの番号を選び、[実行]を押します。

③ 入力時と同様に、設定や文字入力をしていきます。（158ページの手順 12 以降の操作）

コメントの位置を移動する

① コメントプリントの編集メニュー（157ページの手順 9 の状態）から、[∧][∨]で「コメントの移動」を選び、[実行]を押します。

② [∧] [∨] で移動したいコメントの番号を選び、[実行]を押します。

③ 入力時と同様に、位置を移動・調整します。（158ページの手順 18 以降の操作）

写真の色や濃さを調整する

① コメントプリントの編集メニュー（157ページの手順 9 の状態）から、[∧][∨]で「写真の色を変更」を選び、[実行]を押します。

②「写真の色や濃さを変える」（119ページ）と同様な操作で変更します。

※ 変更すると、それまでに入力したコメントは消去されます。

●文字設定の設定項目(コメントプリント)

設定項目	設定内容
方向	「縦書き」か「横書き」を指定します。
サイズ	コメントの文字サイズを指定します。サイズによって入力できる行数と文字数が決まります。 ・L判の場合 小　　：19行×25文字 標準　：16行×21文字 やや大：12行×15文字 大　　：8行×10文字 極大　：4行×5文字 ・はがきの場合 小　　：22行×28文字 標準　：18行×23文字 やや大：14行×17文字 大　　：9行×11文字 極大　：4行×5文字

●印刷設定画面の設定項目(コメントプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがきから選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶25ページ
部数	印刷する枚数を設定します。 設定可能部数：0～99 数字キーで直接枚数を設定することもできます。数字は必ず2桁で入力してください。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するときに選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。

重要 コメントプリントで印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

コメントプリントのデータを登録する

コメントプリントのデータをメモリーカードに4件まで登録することができます(本体には登録できません)。
1件あたり約3M Byteのデータをメモリーカードに登録します。また、外字の内容は登録できません。

1 **メモリーカードをセットします。**
「メモリーカードをセットする」 ▶▶ 21ページ

2 **コメントプリントの完成画面で、[1](登録)を押します。**
ファイル選択画面が表示されます。

3 **[∧][∨]で登録先のファイルを選び、[実行]を押します。**
すでに登録済みのデータがあるときは、ファイル名の先頭に○が付きます。

コメントプリントの内容が登録され、元の画面に戻ります。

登録したコメントプリントのデータを呼び出す

1 **データを登録したメモリーカードをセットします。**

2 **[∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨][<][>]で「コメントプリント」を選び、[実行]を押します。**

4 **[∧][∨]で「作成物を呼び出す」を選び、[実行]を押します。**
ファイル選択の画面が表示されます(登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています)。

5 **[∧][∨]で呼び出すファイルを選び、[実行]を押します。**
完成画面になり、指定したデータが呼び出されます。

- 外字の内容は登録されません。
  コメントプリントのデータ呼び出し時は、外字の内容を確認することをおすすめします。

登録したコメントプリントのデータを削除する

1 データを登録したメモリーカードをセットします。

2 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 [∧][∨][<][>]で「コメントプリント」を選び、[実行]を押します。

4 [∧] [∨] で「作成物を呼び出す」を選び、[実行]を押します。

ファイル選択の画面が表示されます(登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています)。

5 [∧][∨]で削除するファイルを選び、[機能]を押します。

6 [∧] [∨] で「登録データの削除」を選び、[実行]を押します。

削除確認のメッセージが表示されます。

7 [<][>]を押して「はい」を選び、[実行]を押します。

指定したファイルが削除され、ファイル選択の画面に戻ります。

データを削除しても、ファイル名はそのまま残ります。

ファイル名を変更する

メモリーカードに登録したファイル名を分かりやすい名前に変更することができます。

1 データを登録したメモリーカードをセットします。

2 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 [∧][∨][<][>]で「コメントプリント」を選び、[実行]を押します。

4 [∧] [∨] で「作成物を呼び出す」を選び、[実行]を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

5 [∧][∨]で名称を変更したいファイルを選び、[機能]を押します。

6 [∧] [∨] で「ファイル名の修正」を選び、[実行]を押します。

7 [削除]を何回か押して、現在のファイル名を削除します。

8 新しいファイル名を入力して、[実行]を押します。

9 [<][>]で「はい」を選び、[実行]を押します。

ファイル選択の画面に戻ります。

ファイル名自体は、本体に記憶され、メモリーカードには登録されません。

写真をシールに印刷する(シールプリント)

写真にフレームをつけてシールに印刷できます。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」

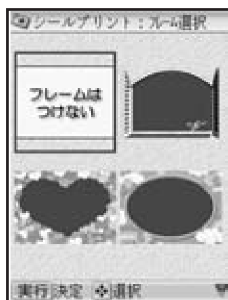
▶▶ 21ページ

2 **∧∨<>でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。**



3 **∧∨<>で「シールプリント」を選び、実行を押します。**

フレームの種類を選ぶ画面が表示されます。フレームは10種類選べます。



4 **∧∨<>でフレームを選び、実行を押します。**

5 **∧∨<>で写真を選び、実行を押します。**



6 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**7**に進みます。

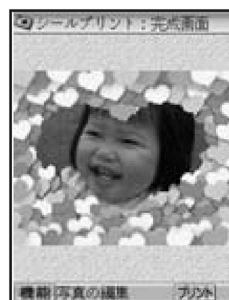
「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」

▶▶ 117ページ

7 **実行を押します。**

完成画面が表示されます。

シフト かな小 プレビュー プリント を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。



8 **機能を押します。**

写真の色を選ぶ画面が表示されます。

変更する必要がなければ、そのまま手順**10**に進みます。

9 **∧∨で色を選び、実行を押します。**

完成画面が表示されます。

10 **プレビュー プリントを押します。**

印刷設定の画面が表示されます。

11 **印字タイプを設定して、プレビュー プリントを押します。**

「用紙サイズ：シール紙」「部数：01部」「紙質：フォト光沢用紙」固定になります。

12 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

1枚だけシール紙を光沢面を表側にしてセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

重要 用紙は1枚だけセットしてください。複数枚セットすると、正常に印刷されないことがあります。

13 実 行 を押します。

シールプリントが始まります。印刷が終了すると、シールプリントの完成画面に戻ります。

重要
- 印刷を中止するときは、取消し を押します。
- シールを一部分剥がしたシール紙を再度使用しないでください。正しく印刷できません。

14 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

重要
- シールプリントで印刷できる写真は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ（大きさを変える）などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。
- シールのフレームと写真は、シール内に余白が入るのを防ぐために切り取り線よりもひと回り大きく印刷されます。写真の一部を切り抜いてシールを作成する場合は、やや大きめに切り抜くと、きれいに配置できます。

俳句を入れて写真を印刷する(写真俳句)

デジタル写真プリントでは、俳句を入れて写真を印刷することができます。

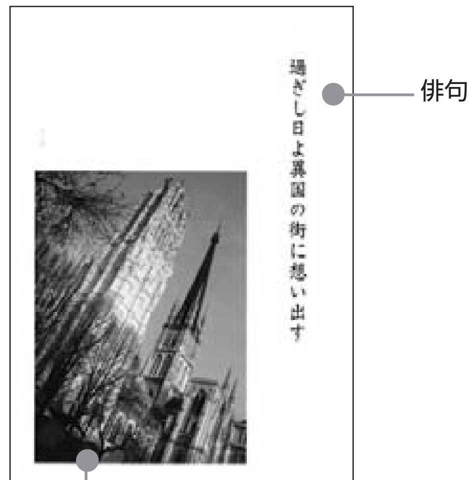
●写真横で作る(166ページ)



俳句

横方向の写真

●写真縦で作る(166ページ)



俳句

縦方向の写真

●写真の上に合成して作る(170ページ)



俳句

場所や日付など

写真俳句を作る

横または縦の写真を使って写真俳句を作る方法について説明します。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

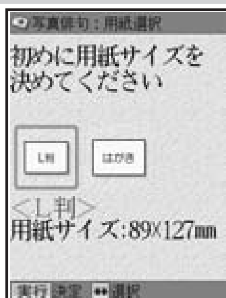
2 ⋀⋁＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。



3 ⋀ ⋁ ＜ ＞ で「写真俳句」を選び、実行を押します。

「写真横で作る」は横方向の写真、「写真縦で作る」は縦方向の写真を使います。

4 ⋀ ⋁ ＜ ＞ で「写真横で作る」（または「写真縦で作る」）を選び、実行を押します。



- メモリーカードに登録済みのデータを呼び出すときは、メモリーカードをセットして「作成物呼出」を選びます。
- 用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

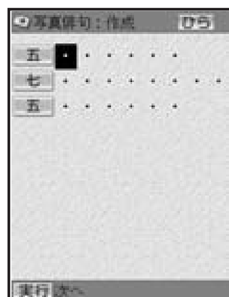
※用紙サイズは「L判」と「はがき」の2種類のみとなります。

5 ＜＞で用紙サイズを選び、実行を押します。

写真の一覧が表示されます。

6 ⋀⋁＜＞で写真を選び、実行を押します。

俳句（五・七・五）を入力する画面が表示されます。



7 「五」の行を入力します。

「文字の入力」
▶▶35ページ

8 ⋁を押して、「七」の行を入力します。

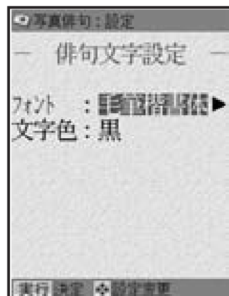
9 ⋁を押して、「五」の行を入力します。

10 俳句の入力が終わったら実行を押します。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

11 ＜で「はい」を選び、実行を押します。

俳句文字設定の画面が表示されます。



12 ∧∨で設定する項目を選びます。

13 ＜＞で設定する内容を選びます。

「俳句文字設定の設定項目」
▶▶ 169ページ

14 設定が終わったら 実行 を押します。

完成画面が表示されます。

シフト かな小 プレビュー プリント を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。はっきりズーム を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消し を押してください。



15 プレビュー プリント を押します。

印刷設定の画面が表示されます。

16 印刷する部数／紙質／印字タイプを設定して、プレビュー プリント を押します。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 169ページ

17 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

18 実行 を押します。

写真俳句の印刷が始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重要 印刷を中止するときは、取消し を押します。

19 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

入力した俳句を修正する

① 写真俳句の完成画面（167ページの手順 14 の状態）から、2（編集）を押します。

② △▽で「俳句の修正」を選び、実 行を押します。

③ 入力時と同様に、文字入力や設定をしていきます。（166ページの手順 7 以降の操作）

写真の色や濃さを調整する

① 写真俳句の完成画面（167ページの手順 14 の状態）から、2（編集）を押します。

② △▽で「写真の色を変更」を選び、実 行を押します。

③「写真の色や濃さを変える」（119ページ）と同様な操作で変更します。

写真の上下を反転する

「写真縦で作る」で俳句を作成した場合は、完成画面で写真の上下が逆になるときがあります。その場合は、以下の手順で写真の上下を反転させてください。

① 写真俳句の完成画面（167ページの手順 14 の状態）から、2（編集）を押します。

② △▽で「写真の上下を反転」を選び、実 行を押します。
写真の上下が反転します。

●俳句文字設定の設定項目（写真俳句）

設定項目	設定内容
フォント	書体（フォント）を設定します。 ［＞］を押すたびに、毛筆楷書体→ゴシック体→丸ゴシック体→明朝体→毛筆流麗体の順に切り換わります。［＜］を押すと、逆の順序に切り換わります。
文字色	文字の色を設定します。 ［＞］を押すたびに、黒→赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白の順で切り換わります。［＜］を押すと、逆の順序に切り換わります。

※文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」（192ページ）をご覧ください。輪郭をつけないようにした場合は、白い背景の上に白い文字を配置しても、何も印刷されません。

●印刷設定画面の設定項目（写真俳句）

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがきから選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶25ページ
部数	印刷する枚数を設定します。 設定可能部数：0～99 数字キーで直接枚数を設定することもできます。数字は必ず2桁で入力してください。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するときに選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり（印字品質）を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。

重要 写真俳句で印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ（大きさを変える）などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

写真の上に文字を合成して、写真俳句を作る

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。

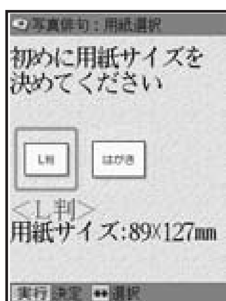


3 ∧ ∨ ＜ ＞ で「写真俳句」を選び、実行を押します。

4 ∧∨＜＞で「写真の上に合成」を選び、実行を押します。

- メモリーカードに登録済みのデータを呼び出すときは、メモリーカードをセットして「作成物呼出」を選びます。
- 用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

※用紙サイズは「L判」と「はがき」の2種類のみとなります。



5 ＜＞で用紙サイズを選び、実行を押します。

写真の一覧が表示されます。

6 ∧∨＜＞で写真を選び、実行を押します。



7 写真の範囲、向き、位置を調整します。

調整する必要がなければそのまま手順**8**に進みます。

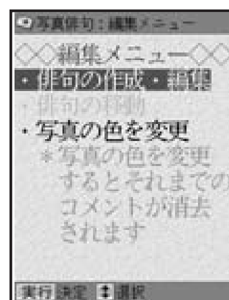
「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

8 実行を押します。

完成画面が表示されます。



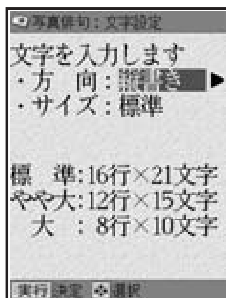
9 2（編集）を押します。



10 △ ▽ で「俳句の作成・編集」を選び、実行を押します。

11 △▽で「俳句を作る」を選び、実行を押します。

- 「場所や日付など」を選ぶと場所や日付を入力することができます。
- 文字の方向とサイズを設定する画面が表示されます。



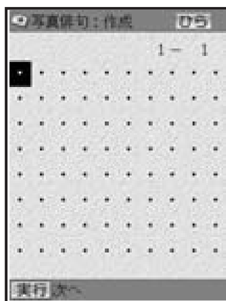
12 △▽で設定する項目を選びます。

13 ＜＞で設定する内容を選びます。

「文字設定の設定項目」
▶▶ 173ページ

14 設定が終わったら実行を押します。

俳句を入力する画面が表示されます。



15 166ページの手順7～14と同様な操作で俳句の入力と、俳句文字設定を行います。

16 設定が終わったら、実行を押します。

入力した俳句の位置を設定する画面が表示されます。

青色の枠が俳句の位置で、△が俳句の向きを表しています。

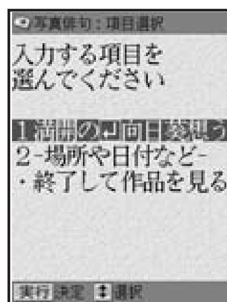
17 操作ガイドにしたがって俳句の向き、位置を調整します。

調整する必要がなければそのまま手順18に進みます。

※俳句を端に配置すると印刷時に切れることがあります。俳句は少し内側に配置するようにしてください。

18 俳句の位置を確認して、実行を押します。

俳句が入力されて、入力項目の選択画面に戻ります。俳句を再編集したい・「場所や日付など」を入力したいときは、11以降の操作を繰り返してください。



19 すべての入力が終わったら、▽で「終了して内容を見る」を選び、実行を押します。

完成画面が表示されます。

シフト かな小 プレビュー プリントを押すと、仕上がりのイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。

20 プレビュー プリントを押します。

印刷設定の画面が表示されます。

21 印刷する部数／紙質／印字タイプを設定して、[プレビュー/プリント]を押します。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 169ページ

※「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

22 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

23 [実 行]を押します。

写真俳句の印刷が始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重 要 印刷を中止するときは、[取消し]を押します。

24 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

入力した俳句などを修正する

① 写真俳句の編集メニュー（170ページの手順 9 の状態）から、[∧][∨]で「俳句の作成・編集」を選び、[実 行]を押します。

② [∧][∨]で修正したい項目を選び、[実 行]を押します。

③ 入力時と同様に、設定や文字入力をしていきます。（167ページの手順 12 以降の操作）

俳句の位置を移動する

① 写真俳句の編集メニュー（170ページの手順 9 の状態）から、[∧] [∨] で「俳句の移動」を選び、[実 行]を押します。

② [∧][∨]で移動したい項目を選び、[実 行]を押します。

③ 入力時と同様に、位置を移動・調整します。（167ページの手順 18 以降の操作）

写真の色や濃さを調整する

① 写真俳句の編集メニュー（170ページの手順 9 の状態）から、[∧][∨]で「写真の色を変更」を選び、[実 行]を押します。

②「写真の色や濃さを変える」（119ページ）と同様な操作で変更します。

●文字設定の設定項目（写真俳句〈写真の上に合成〉）

設定項目	設定内容
方向	「縦書き」か「横書き」を指定します。
サイズ	文字サイズを指定します。サイズによって入力できる行数と文字数が決まります。 ・L判の場合 標準　：16行×21文字 やや大：12行×15文字 大　　：8行×10文字 ・はがきの場合 標準　：18行×23文字 やや大：14行×17文字 大　　：9行×11文字

写真俳句のデータを登録する

写真俳句のデータをメモリーカードに4件まで登録することができます（本体には登録できません）。
1件あたり約3M Byteのデータをメモリーカードに登録します。

1 **メモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」 ▶▶ 21ページ

2 **写真俳句の完成画面で、[1]（登録）を押します。**

ファイル選択画面が表示されます。

3 **[∧][∨]で登録先のファイルを選び、[実行]を押します。**

すでに登録済みのデータがあるときは、ファイル名の先頭に○が付きます。

写真俳句の内容が登録され、元の画面に戻ります。

登録した写真俳句のデータを呼び出す

1 **データを登録したメモリーカードをセットします。**

2 **[∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨][<][>]で「写真俳句」を選び、[実行]を押します。**

4 **[∧][∨][<][>]で「作成物呼出」を選び、[実行]を押します。**

ファイル選択の画面が表示されます（登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています）。

5 **[∧][∨]で呼び出すファイルを選び、[実行]を押します。**

完成画面になり、指定したデータが呼び出されます。

- 外字の内容は登録されません。
  写真俳句のデータ呼び出し時は、外字の内容を確認することをおすすめします。

登録した写真俳句のデータを削除する

1 データを登録したメモリーカードをセットします。

2 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 [∧][∨][<][>]で「写真俳句」を選び、[実行]を押します。

4 [∧][∨][<][>]で「作成物呼出」を選び、[実行]を押します。

ファイル選択の画面が表示されます(登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています)。

5 [∧][∨]で削除するファイルを選び、[機能]を押します。

6 [∧][∨]で「登録データの削除」を選び、[実行]を押します。

削除確認のメッセージが表示されます。

7 [<][>]を押して「はい」を選び、[実行]を押します。

指定したファイルが削除され、ファイル選択の画面に戻ります。

データを削除しても、ファイル名はそのまま残ります。

ファイル名を変更する

メモリーカードに登録したファイル名を分かりやすい名前に変更することができます。

1 データを登録したメモリーカードをセットします。

2 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 [∧][∨][<][>]で「写真俳句」を選び、[実行]を押します。

4 [∧][∨][<][>]で「作成物呼出」を選び、[実行]を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

5 [∧][∨]で名称を変更したいファイルを選び、[機能]を押します。

6 [∧][∨]で「ファイル名の修正」を選び、[実行]を押します。

7 [削除]を何回か押して、現在のファイル名を削除します。

8 新しいファイル名を入力して、[実行]を押します。

9 [<][>]で「はい」を選び、[実行]を押します。

ファイル選択の画面に戻ります。

ファイル名自体は、本体に記憶され、メモリーカードには登録されません。

MEMO